

流域治水プロジェクトの更新・HP公表に関すること

流域治水

- 近年、気候変動の影響により水災害が激甚化・頻発化しています。
- 流域治水とは、水災害リスクの増大に備えるため、集水域(雨水が河川に流入する地域)から氾濫域(河川等の氾濫により浸水が想定される地域)にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方です。

取組1

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

取組2

被害対象を減少させるための対策

取組3

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



**沖縄県管理河川の大規模氾濫に関する減災対策協議会
「沖縄県管理河川の減災に係る取組方針」抜粋**

・流域治水について、組織的、計画的、継続的に取組むことが重要。

流域治水プロジェクトの更新・HP公表に関すること

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

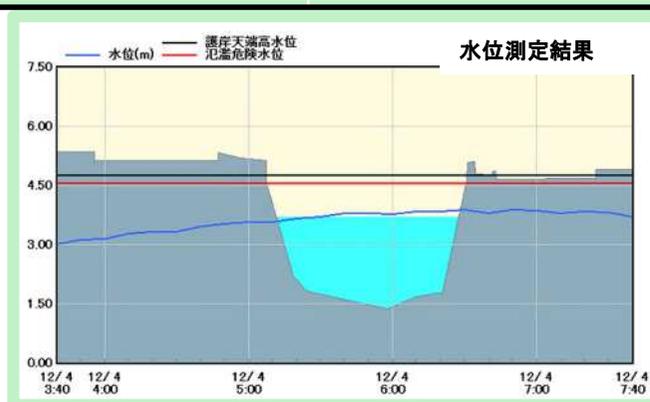
- ・2級河川、市町村管理河川のハード対策
⇒河川改修、浚渫等。
- ・ダムによる治水
⇒洪水調節、事前放流等

被害対象を減少させるための対策

- ・河川管理者以外のハード対策
⇒下水道等の排水施設、雨水貯留浸透施設の整備。
- ・土地利用規制、誘導、移転促進
⇒立地適正化計画における居住誘導

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ソフト対策
⇒(洪水浸水想定区域の指定、洪水ハザードマップの作成、水位計設置、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定、タイムラインの策定等。)



治水対策の全体像
について示したもの
流域治水プロジェクト

流域治水プロジェクト一覧

No.	水系名	公表日	関連市町村
1	屋部川水系	令和3年8月17日	名護市
2	満名川水系	令和4年2月28日	本部町
3	我部祖河川水系	令和4年2月28日	名護市
4	大保川水系	令和4年2月28日	大宜味村
5	億首川水系	令和4年2月28日	金武町、恩納村
6	比謝川水系	令和3年8月17日	沖縄市、うるま市、嘉手納町、読谷村
7	小波津川水系	令和3年8月17日	西原町
8	天願川水系	令和4年2月28日	うるま市、沖縄市
9	白比川水系	令和4年2月28日	沖縄市、北谷町、北中城村
10	国場川水系	令和3年8月17日	那覇市、糸満市、豊見城市、南城市 与那原町、南風原町、八重瀬町、西原町
11	安謝川水系	令和4年2月28日	那覇市、浦添市
12	安里川水系	令和4年2月28日	那覇市、南風原町
13	報得川水系	令和4年2月28日	糸満市、南城市、八重瀬町
14	謝名堂川水系	令和4年2月28日	久米島町
15	田原川水系	令和4年2月28日	与那国町
16	比地川水系	—	国頭村 協議会承認後、追加予定

流域治水プロジェクトの更新内容

✓ 令和3年度に、15水系の流域治水プロジェクトを策定・公表しており、今回
時点更新を行う。
⇒今年度市町村等の関係部署に、流域治水プロジェクトの更新について照会し、
更新(案)を作成。

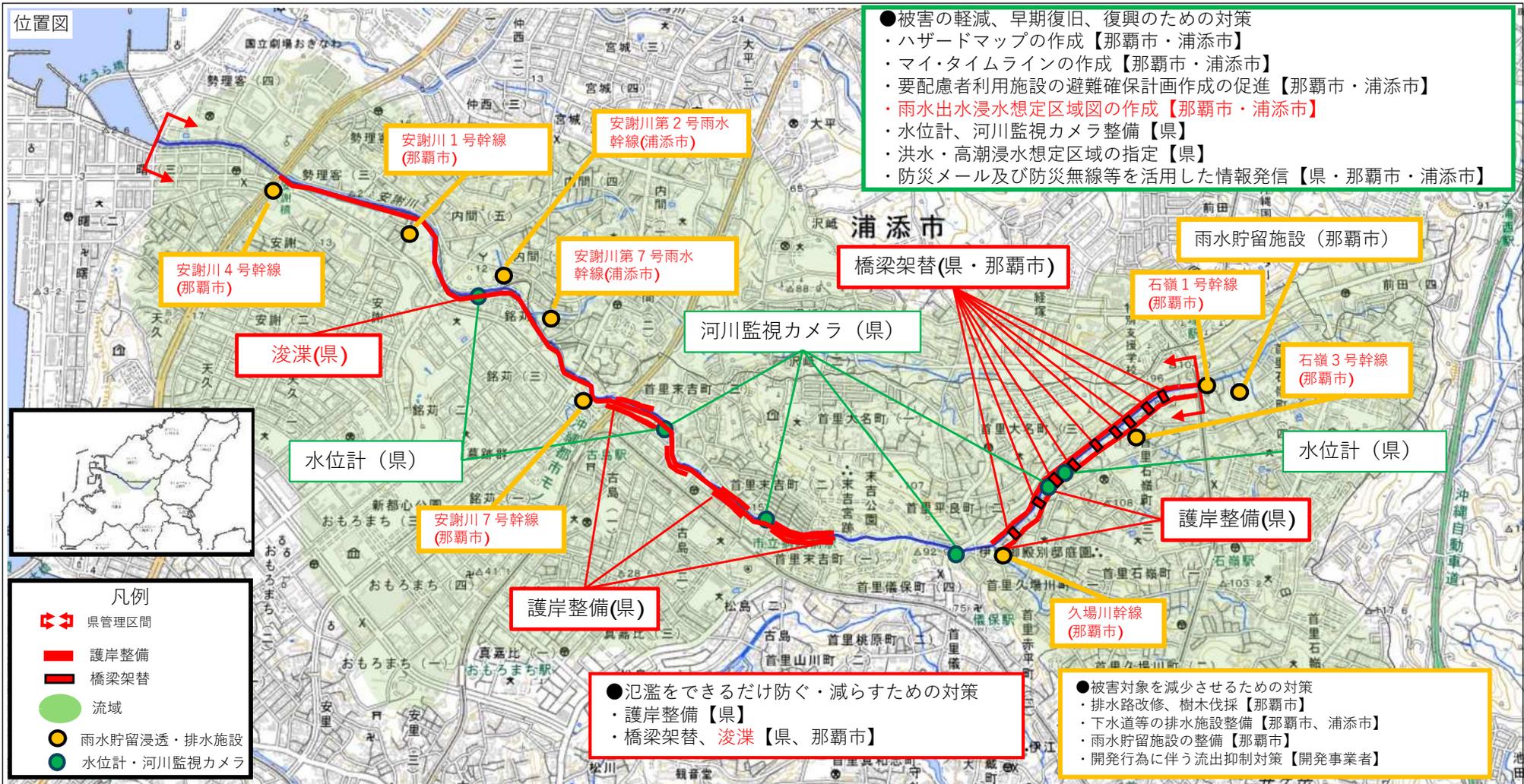
✓ 主な更新内容

1. 河川の浚渫等のハード対策の範囲更新
2. 排水施設整備の追記
3. 「要配慮者利用施設」「ハザードマップ」に関する取組
※3は水防法において定められている事項。

✓ 新たに比地川水系における流域治水プロジェクトを策定。

✓ 今回、更新・追加した流域治水プロジェクトは協議会の承認後に公表。

○ 2級河川安謝川は、中流部～上流部の未整備区間において、現況河川が狭小であることから、度々床上・床下浸水の被害（近年：平成10年、11年、12年）が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

安謝川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、マイタイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、水位計、河川監視カメラ整備による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、橋梁架替、 浚渫	県、那覇市			
被害対象を減少させるための対策	・排水路改修、樹木伐採	那覇市			
	・下水道等の排水施設整備	那覇市、浦添市			
	・雨水貯留施設の整備	那覇市			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・水位計、河川監視カメラ整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・マイ・タイムラインの作成等 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 ・ 雨水出水浸水想定区域図の作成	那覇市、浦添市			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、那覇市、浦添市			

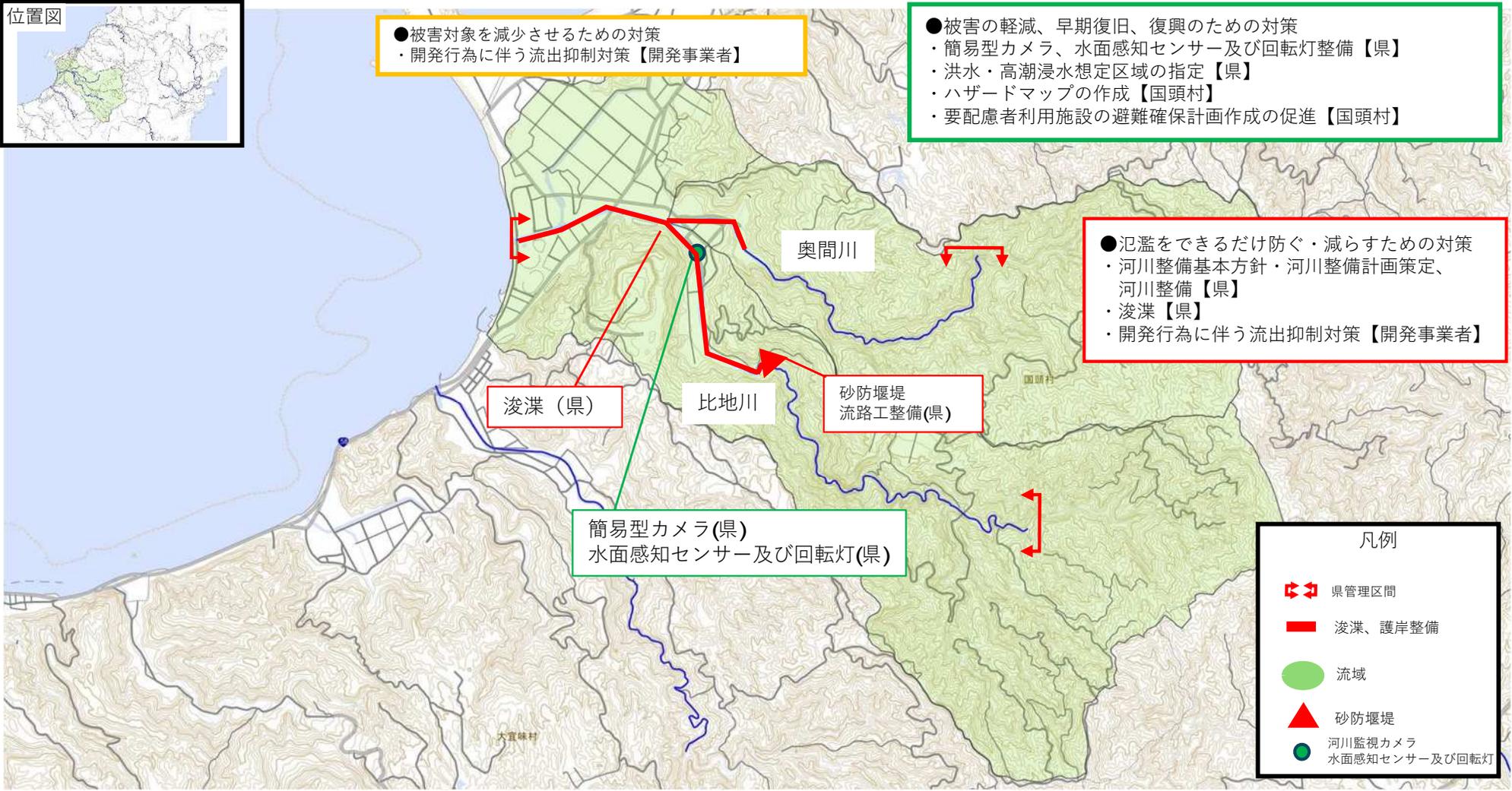
安謝川水系流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

破線：事業中、取組中
 実線：維持管理、フォローアップ等

○二級河川比地川水系では、令和6年11月の豪雨による家屋浸水などの被害が発生しているため、河積が阻害されている箇所
の浚渫等のハード整備や、避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。
また、河川整備に向けて、河川整備基本方針・河川整備計画策定に取り組む。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

比地川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】

沖縄県

比地川水系では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、浚渫や河川整備基本方針・整備計画の策定、河川整備を実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、簡易型カメラ、水面感知センサー及び回転灯を整備するほか、防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。
【中長期】 護岸整備等の河川改修を実施。河川改修実施後は河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を行う。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・ 浚渫	県			
	・ 河川整備基本方針 河川整備計画策定、河川整備	県			
	・ 開発行為に伴う流出抑制対策	事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・ 簡易型カメラ 水面感知センサー、回転灯整備 ・ 洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ 防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、国頭村			

比地川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】



破線：事業中、取組中

実線：維持管理、フォローアップ等

○屋部川及び西屋部川流域は、小中学校等の教育施設、病院及び福祉施設、各種行政施設など多くの都市施設があり、沖縄本島北部地域の主要な都市基盤が集積する地域である。平成19年8月の豪雨においては、名護市為又地区で大型店舗兼アパートの床下浸水や道路冠水等の被害が発生するなど浸水被害が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

屋部川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】

沖縄県

○屋部川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備、流路工整備、砂防堰堤整備、河道掘削、橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、水位計、河川監視カメラの整備、防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。
【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、流路工整備、砂防堰堤整備、橋梁架替、適宜浚渫	県、名護市			
被害対象を減少させるための対策	・下水道の排水施設整備	名護市			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・水位計、河川監視カメラの整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 ・雨水出水浸水想定区域図の作成	名護市			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、名護市			

屋部川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

○満名川は、沖縄本島北部の本部町に位置し、下流部には、町役場、小中学校、郵便局等の公共施設が集中している。平成24年9月の台風16号においては、床上・床下の浸水被害が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

満名川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】

沖縄県

満名川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や河道掘削、橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、フラップゲート、逆流防止弁の新規整備及び補修、道路の部分的な嵩上げを行うほか、水位計、河川監視カメラ整備による防災体制の強化を図る。
【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、河道掘削、橋梁架替	県			
被害対象を減少させるための対策	・フラップゲート、逆流防止弁の新規整備及び補修 ・道路の部分的な嵩上げ	本部町			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・水位計、河川監視カメラ整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 ・雨水出水浸水想定区域図の作成	本部町			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、本部町			

満名川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

二級水系
流域治水プロジェクト

我部祖河川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】

沖縄県

我部祖河川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備の河川改修を集中的に実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、水位計、簡易型カメラの整備するほか、防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。
【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、 浚渫	県、名護市			
被害対象を減少させるための対策	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・水位計、簡易型カメラ整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	名護市			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、名護市			

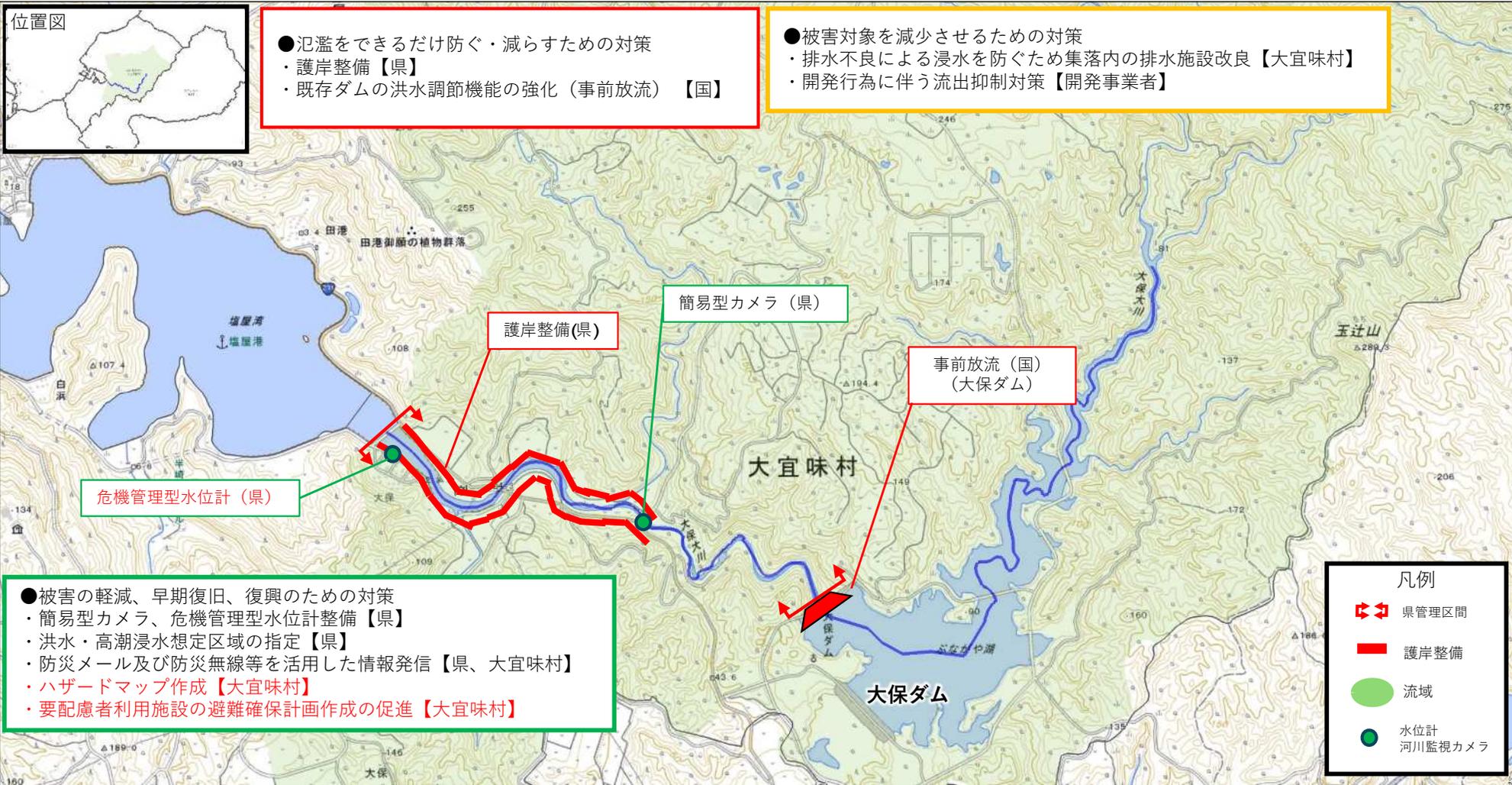
我部祖河川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

○大保川は、沖縄本島北部の大宜味村に位置し、河口の平地部には集落が形成され、平成24年9月の台風17号においては、床上・床下の浸水被害が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

大保川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】

沖縄県

大保川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、村、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、既存ダムの洪水調節機能の強化に伴う事前放流、護岸整備の河川改修を集中的に実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、簡易型カメラ、危機管理型水位計の整備及び防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。
【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備	県			
	・既存ダムの洪水調節機能の強化（事前放流）	国			
被害対象を減少させるための対策	・排水不良による浸水を防ぐため集落内の排水施設改良	大宜味村			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・簡易型カメラ、危機管理型水位計の整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	大宜味村			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、大宜味村			

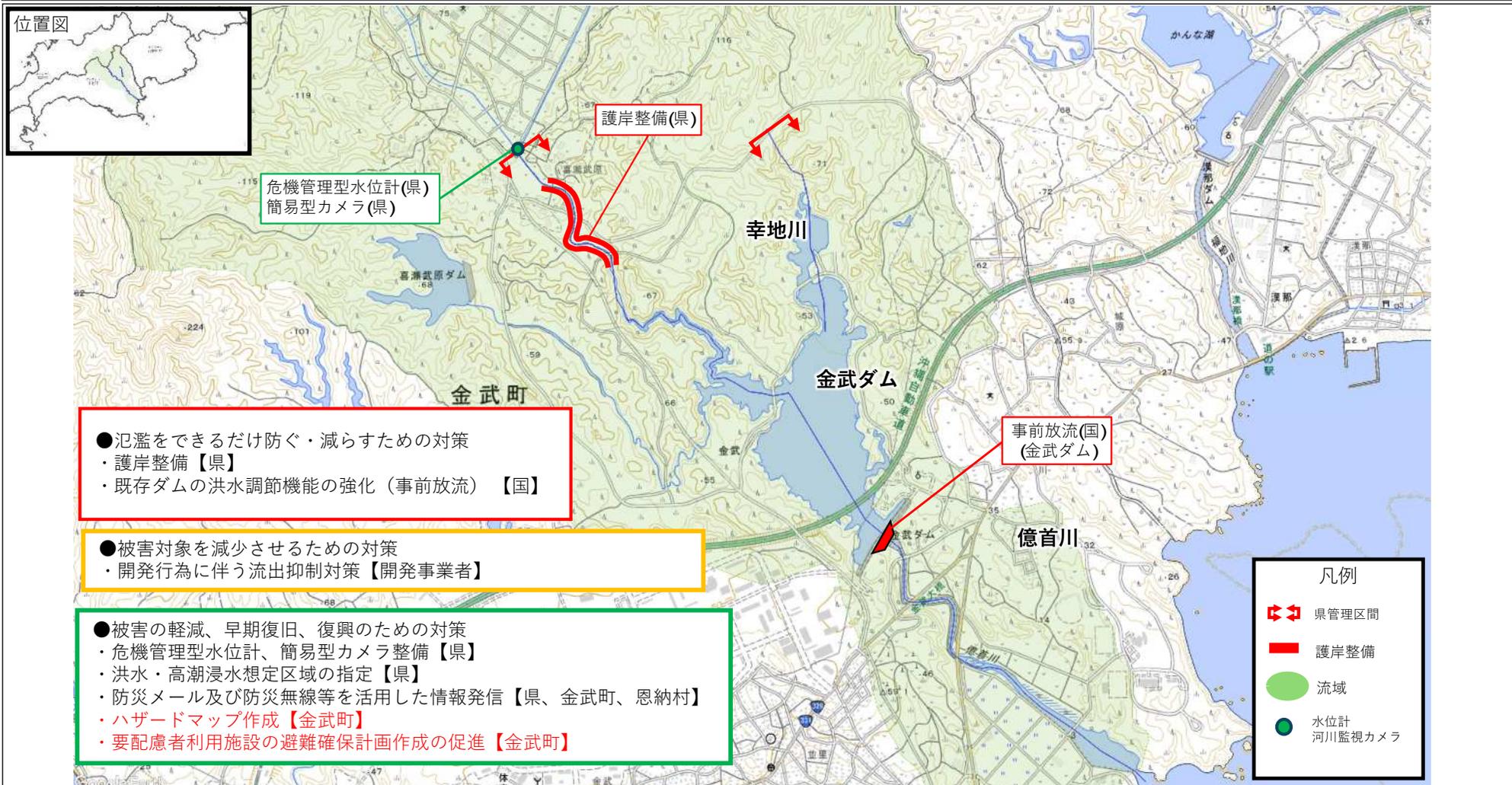
大保川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

○億首川は、沖縄本島中央部の金武町に位置し、上流部の喜瀬武原地区において、床上・床下浸水、田畑冠水、県道104号線の冠水等の被害が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

億首川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】

沖縄県

億首川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、町村、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、既存ダムの洪水調節機能の強化に伴う事前放流、護岸整備等の河川改修を集中的に実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、簡易型カメラ、危機管理型水位計の整備及び防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。
【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備	県			
	・既存ダムの洪水調節機能の強化（事前放流）	国			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・危機管理型水位計、簡易型カメラ整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	金武町			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、金武町 恩納村			

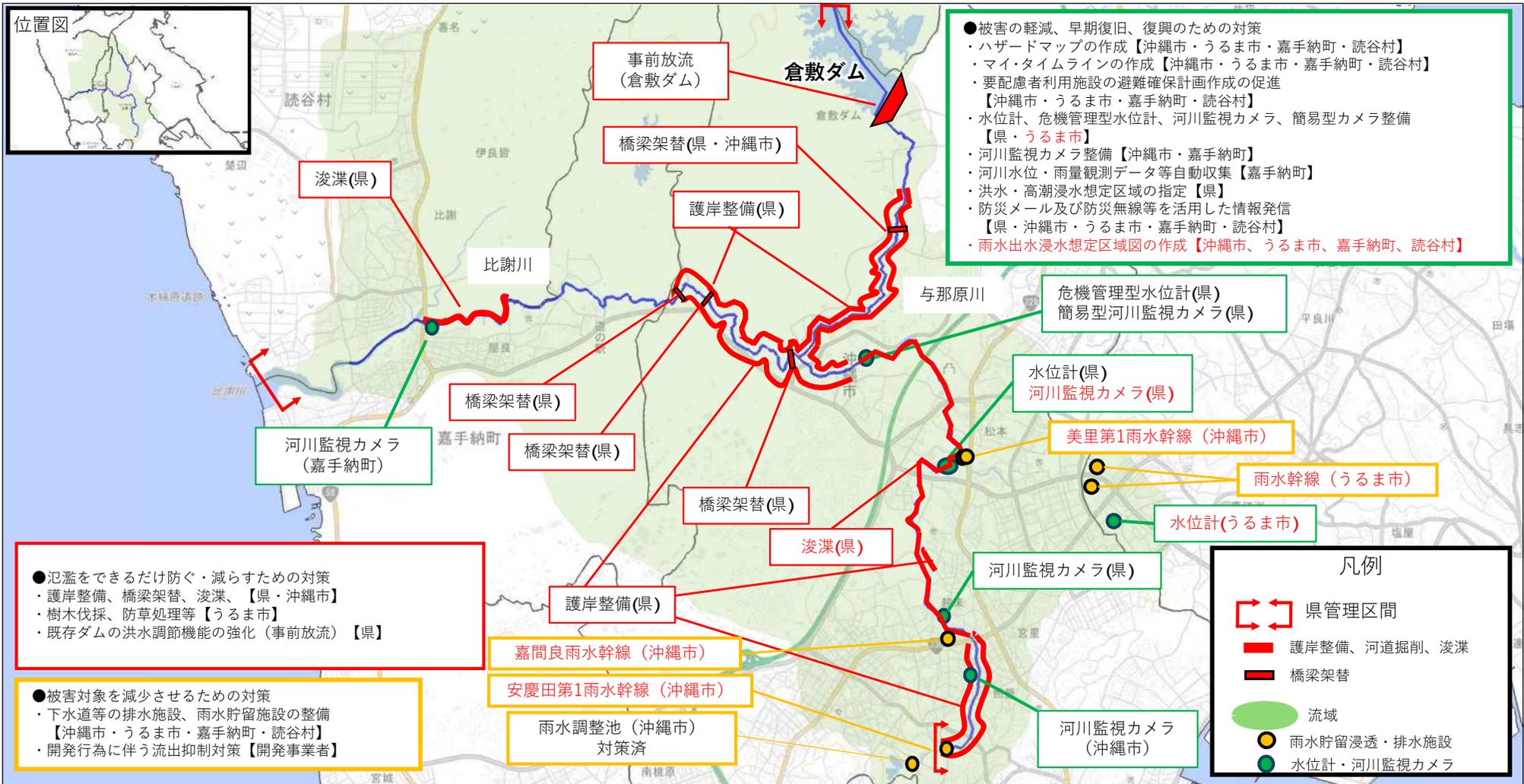
億首川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

○比謝川流域は、沖縄市、嘉手納町、読谷村等の市町村にまたがっており、上中流域の大部分を沖縄本島中部の中心都市である沖縄市が占め、下流域は嘉手納町の中心地として公共施設や宅地が集中しており、平成13年9月の台風16号の出水では、国道330号上流で、床下浸水4戸、床上浸水95戸の甚大な被害が生じた。このことから、早期に上流展開が図られるよう緊急的な対策を推進する必要があると、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

○比謝川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市町村、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、既存ダムの洪水調節機能の強化に伴う事前放流、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。
被害対象を減少させるための対策は、下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備による浸水被害軽減を図る。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、ハザードマップ・マイタイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、危機管理型水位計、簡易型カメラ設置等の整備、防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	<ul style="list-style-type: none"> 護岸整備、橋梁架替、浚渫 樹木伐採、防草処理等 既存ダムの洪水調節機能の強化（事前放流） 	県 沖縄市、うるま市			
被害対象を減少させるための対策	<ul style="list-style-type: none"> 下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備 	沖縄市、うるま市 嘉手納町、読谷村			
	<ul style="list-style-type: none"> 開発行為に伴う流出抑制対策 	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理型水位計、簡易型カメラの整備 水位計、河川監視カメラの整備 洪水・高潮浸水想定区域の指定 	県、うるま市			
	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップの作成 マイ・タイムラインの作成等 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 雨水出水浸水想定区域図の作成 	沖縄市、うるま市 嘉手納町、読谷村			
	<ul style="list-style-type: none"> 河川監視用カメラ設置 河川水位・雨量観測データ等自動収集 防災メール及び防災無線等を活用した情報発信 	県、沖縄市 うるま市 嘉手納町、読谷村			

比謝川水系
流域治水プロジェクト

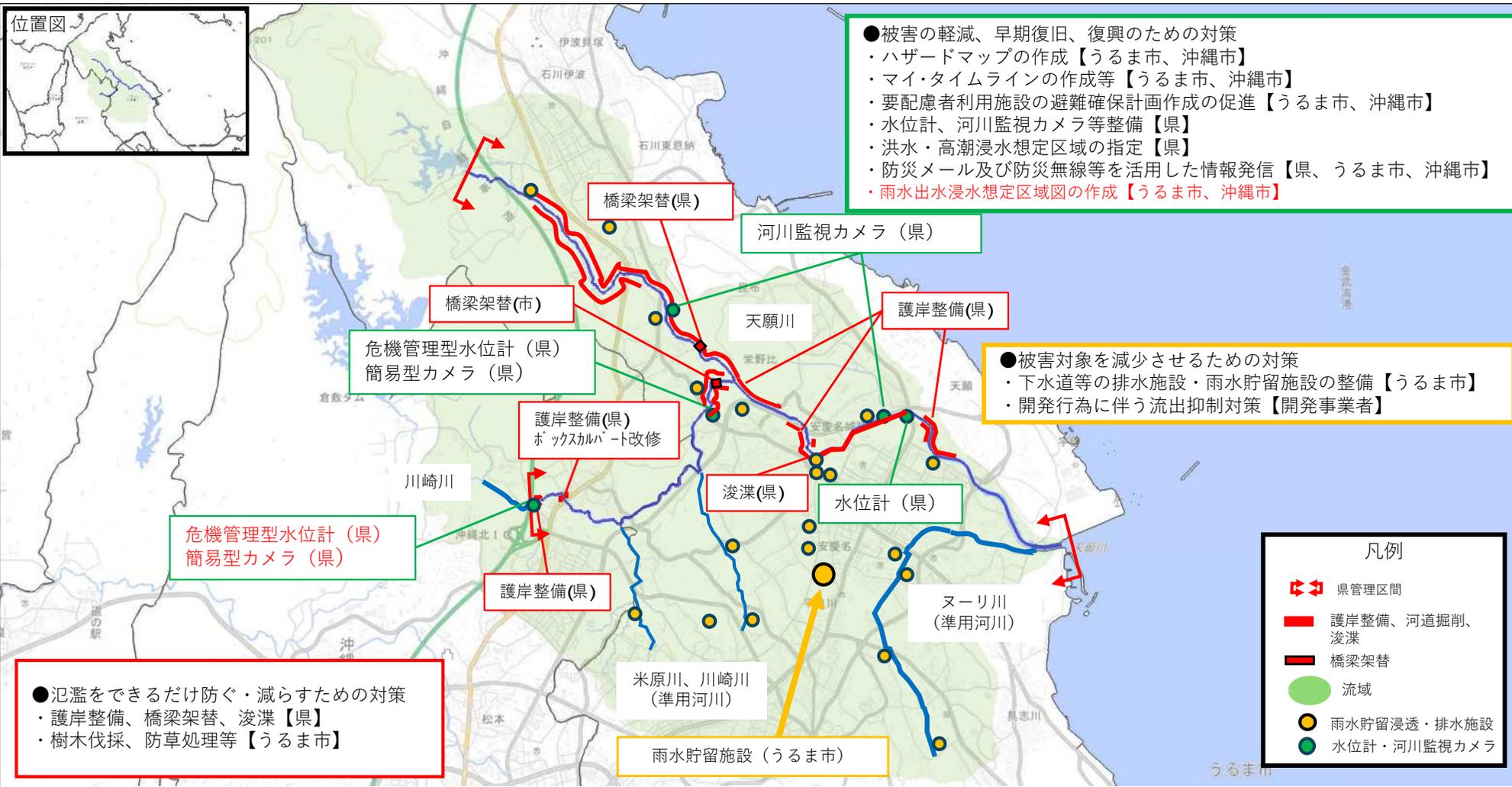
浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

天願川水系流域治水プロジェクト

○過去に豪雨や台風により河川の氾濫が発生しており、近年においては、平成29年6月、令和元年6月の集中豪雨で床上・床下浸水などの甚大な被害を受けたことを踏まえ、安全に流下させる河道整備を実施し、浸水被害の軽減を早期に行う必要がある。以下の取り組みを実施していくことで、計画規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

天願川及び川崎川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、マイタイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、河川監視カメラ、水位計等の整備による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、橋梁架替、浚渫	県			
	・樹木伐採、防草処理等	うるま市			
被害対象を減少させるための対策	・下水道等の排水施設 雨水貯留施設の整備				
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・河川監視カメラ、水位計等整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・マイ・タイムラインの作成等 ・要配慮者利用施設の 避難確保計画作成の促進 ・ 雨水出水浸水想定区域図の作成	うるま市 沖縄市			
	・防災メール及び防災無線等を 活用した情報発信	県、うるま市 沖縄市			

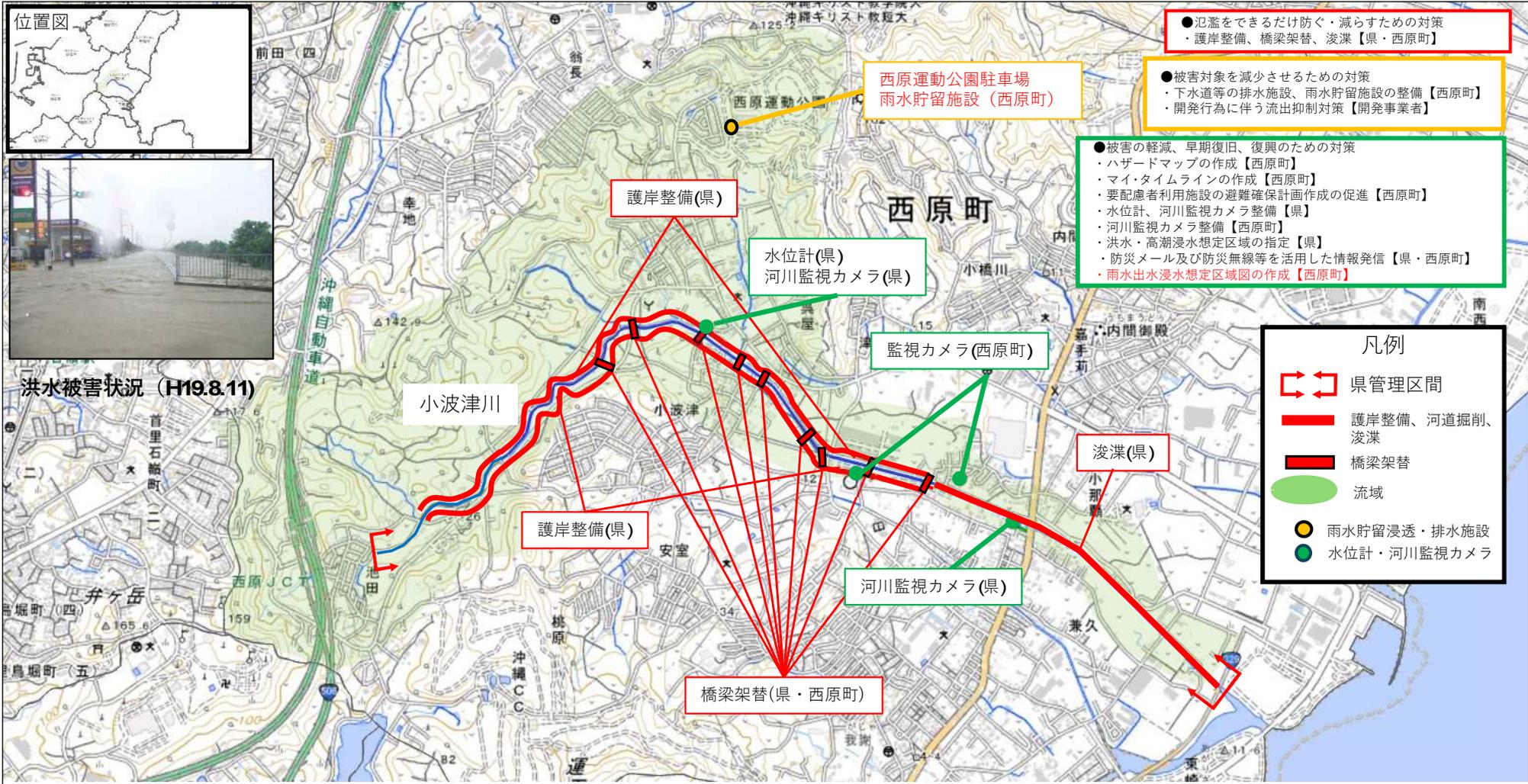
天願川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

○小波津川は都市化の進展による保水・遊水機能の低下による洪水流出の増大や河川の流下能力不足が相まって、平成10年2月の集中豪雨、平成11年9月の台風、平成17年6月の集中豪雨、近年においては、平成29年6月、令和元年6月の集中豪雨で床上・床下浸水などの甚大な被害を受けたため、計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

○小波津川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。
 被害対象を減少させるための対策では、マイ・タイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、河川監視カメラの設置等による防災体制の強化を図る。
【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。
 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、橋梁架替、浚渫	県、西原町			
被害対象を減少させるための対策	・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備	西原町			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・ハザードマップの作成 ・マイ・タイムラインの作成 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 ・雨水出水浸水想定区域図の作成	西原町			
	・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・水位計、河川監視カメラの整備 ・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、西原町			

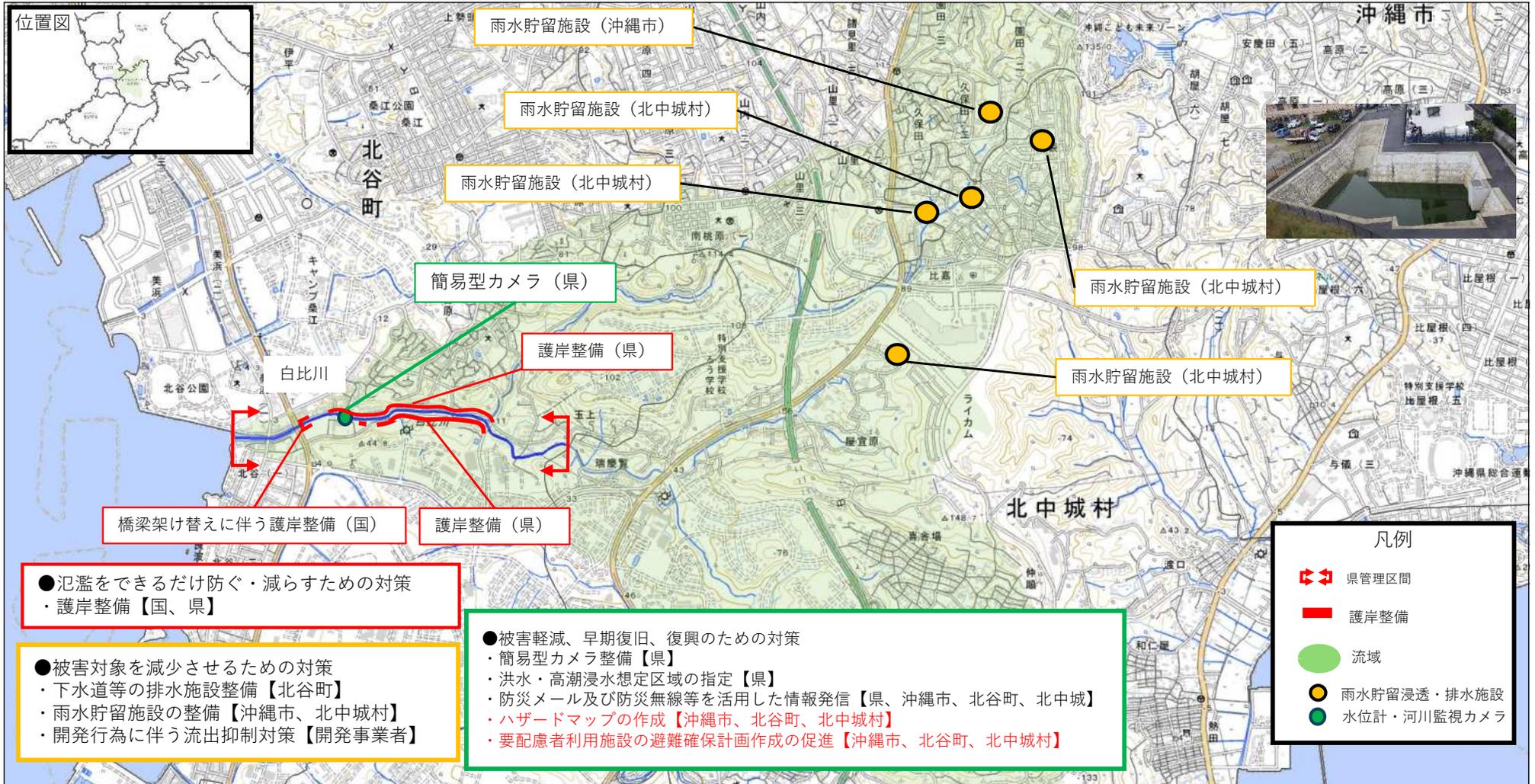
小波津川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

○白比川について、過去に豪雨や台風により河川の氾濫が発生しており、近年においては、令和元年11月台風による家屋浸水などの被害を受けたことを踏まえ、安全に流下させる河道整備を実施し、浸水被害の軽減を早期に行う必要がある。以下の取り組みを実施していくことで、計画規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

白比川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】

沖縄県

白比川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市町村、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備の河川改修を集中的に実施。

被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、簡易型カメラ整備及び防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。

被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備	国、県			
被害対象を減少させるための対策	・下水道等の排水施設整備	北谷町			
	・雨水貯留施設の整備	沖縄市 北中城村			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・簡易型カメラ整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	沖縄市、北谷町、 北中城村			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、沖縄市 北谷町、北中城村			

白比川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

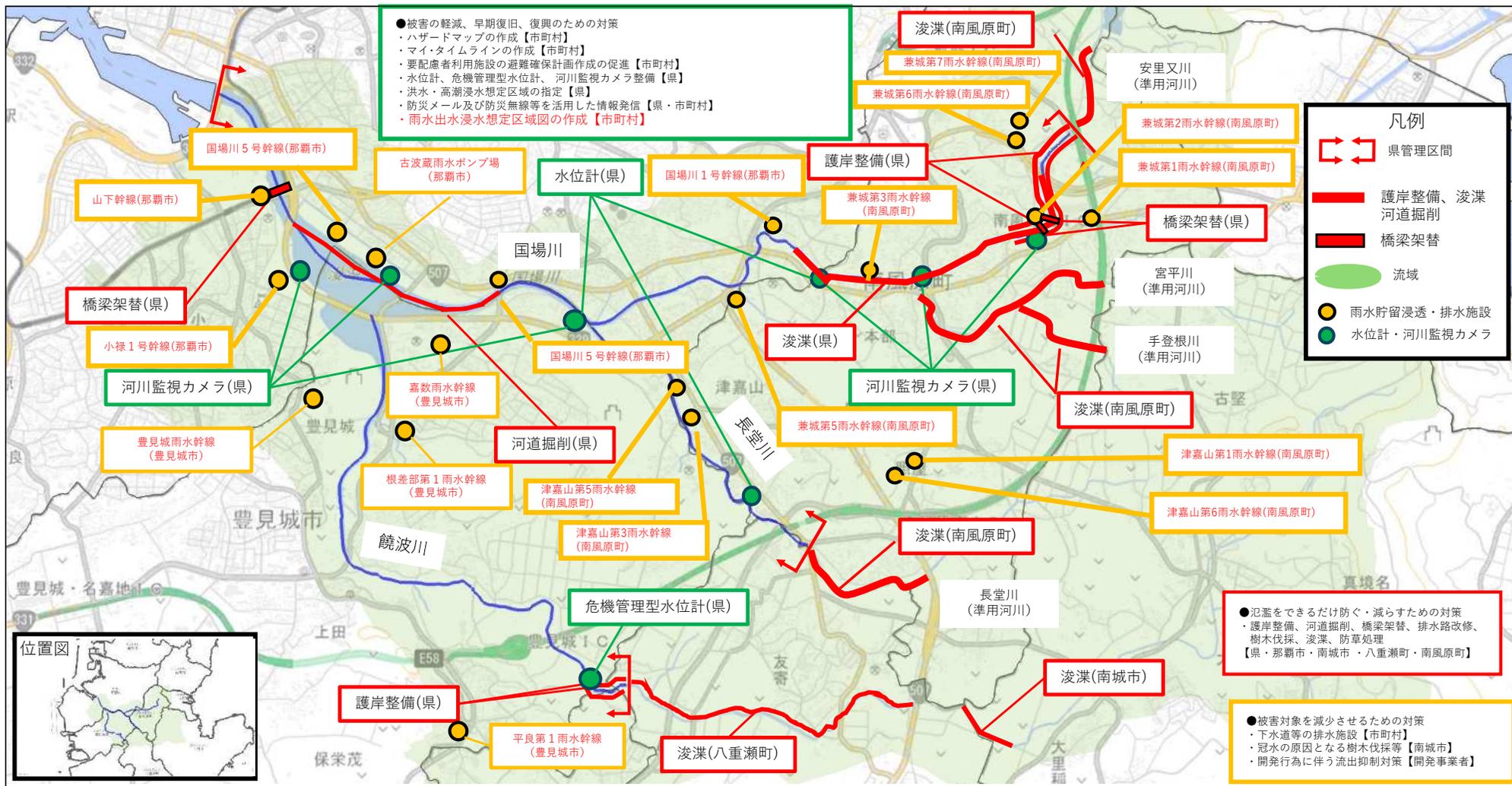
【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

二級水系
流域治水プロジェクト

国場川水系流域治水プロジェクト

○二級河川国場川の未整備区間においては、河川断面が狭小なため、浸水被害が発生しており、平成11年9月の台風18号においては、浸水戸数163戸、道路冠水などの被害が報告されている。このことから、未整備区間となる平原橋から上流に向けて河川改修を実施し、整備区間の計画洪水規模の出水に対する対策や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

○国場川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策は、護岸整備、河道掘削及び橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。被害対象を減少させるための対策は、下水道等の排水施設整備による浸水被害軽減を図る。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、ハザードマップ・マイタイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、危機管理型水位計等の整備による防災体制の強化を図る。
【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、河道掘削、橋梁架替、排水路改修、樹木伐採、浚渫、防草処理	県、那覇市、南城市、与那原町、南風原町、八重瀬町			
被害対象を減少させるための対策	・下水道等の排水施設整備	那覇市、豊見城市、与那原町、南風原町			
	・冠水の原因となる樹木伐採等	南城市			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・危機管理型水位計の整備 ・水位計、河川監視カメラの整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・マイタイムラインの作成等 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 ・雨水出水浸水想定区域図の作成	那覇市、豊見城市、南城市、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町			
	・防災メール及び防災行政無線等を活用した情報発信の強化	県、那覇市、豊見城市、南城市、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町			

国場川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

二級水系
流域治水プロジェクト

安里川水系流域治水プロジェクト

○二級河川安里川は、中流～上流部の未整備区間において、現況河川が非常に狭小であることから度々床上・床下浸水の被害（近年、平成11.12.13.19）が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

安里水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】

沖縄県

安里川水系では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や河道掘削、橋梁架替、遊水池等の河川改修を集中的に実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、マイタイムラインの作成等、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、水位計、河川監視カメラ整備による防災体制の強化を図る。
【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、河道掘削、橋梁架替、遊水池 ・既存ダムの洪水調節機能の強化（事前放流）	県 那覇市			
被害対象を減少させるための対策	・排水路改修、樹木伐採	那覇市			
	・下水道等の排水施設整備	那覇市			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・水位計、河川監視カメラ整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・マイ・タイムラインの作成等 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 ・雨水出水浸水想定区域図の作成	那覇市 南風原町			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、那覇市 南風原町			

安里川水系
流域治水プロジェクト

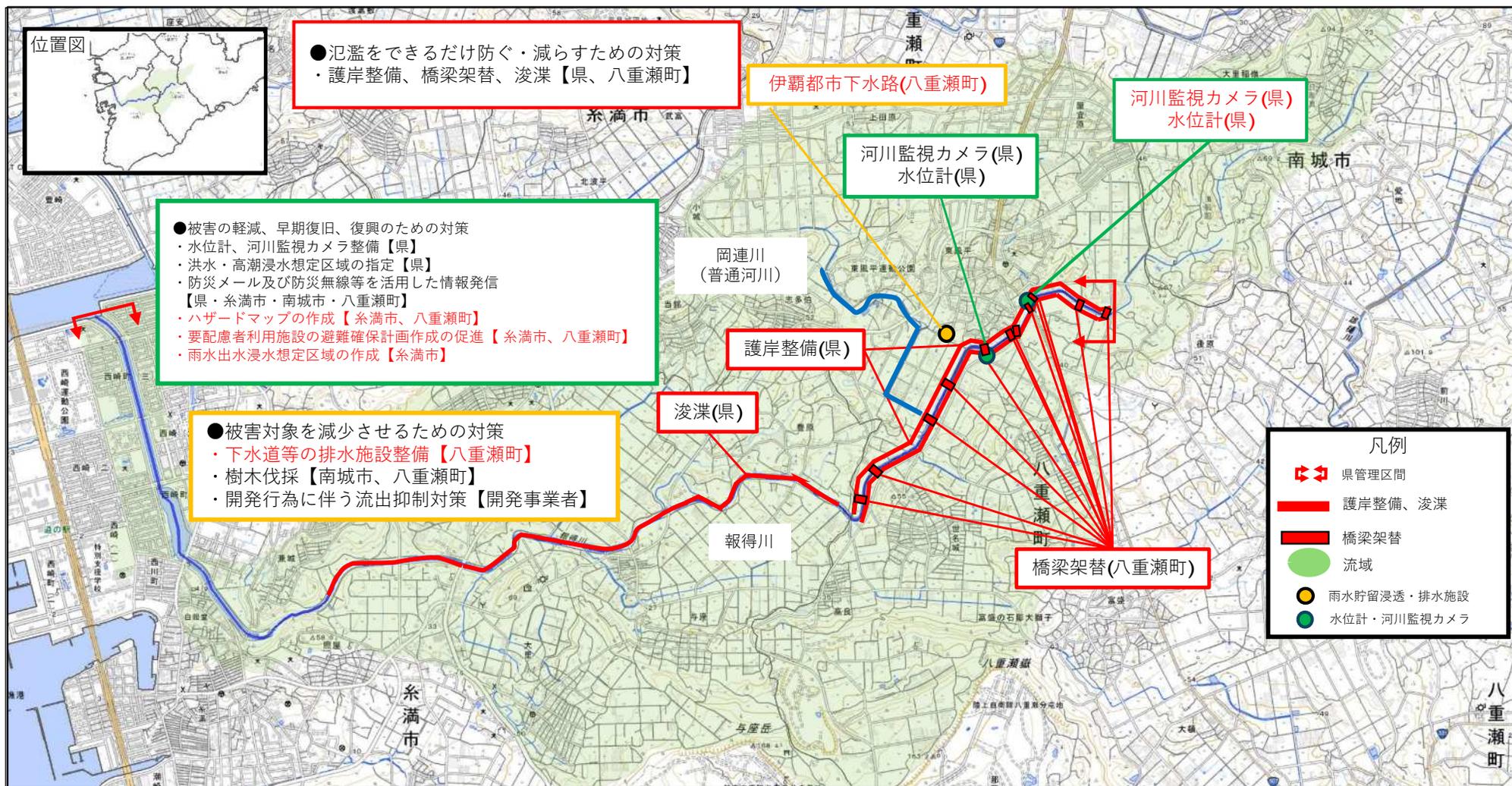
浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

報得川水系流域治水プロジェクト

○二級河川報得川は、下流域の糸満市区間については、平成14年度までに整備済みである。八重瀬町区間である上流域は、灌漑事業により1/10年確率で整備されているが、開発が進んでいるため、降雨時、報得川への流出量が増大しており、平成19年に幼児の水難死亡事故が発生、平成23年には国道507号が冠水し、川沿いの中学校で生徒が避難する状況があったため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

二級水系
流域治水プロジェクト

報得川水系流域治水プロジェクト
【ロードマップ・効果】

沖縄県

報得川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、水位計、河川監視カメラの整備や防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、橋梁架替、浚渫	県、八重瀬町			
被害対象を減少させるための対策	・樹木伐採	南城市、八重瀬町			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・水位計、河川監視カメラの整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 ・雨水出水浸水想定区域の作成（糸満市）	糸満市、八重瀬町			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、糸満市、南城市、八重瀬町			

報得川水系
流域治水プロジェクト

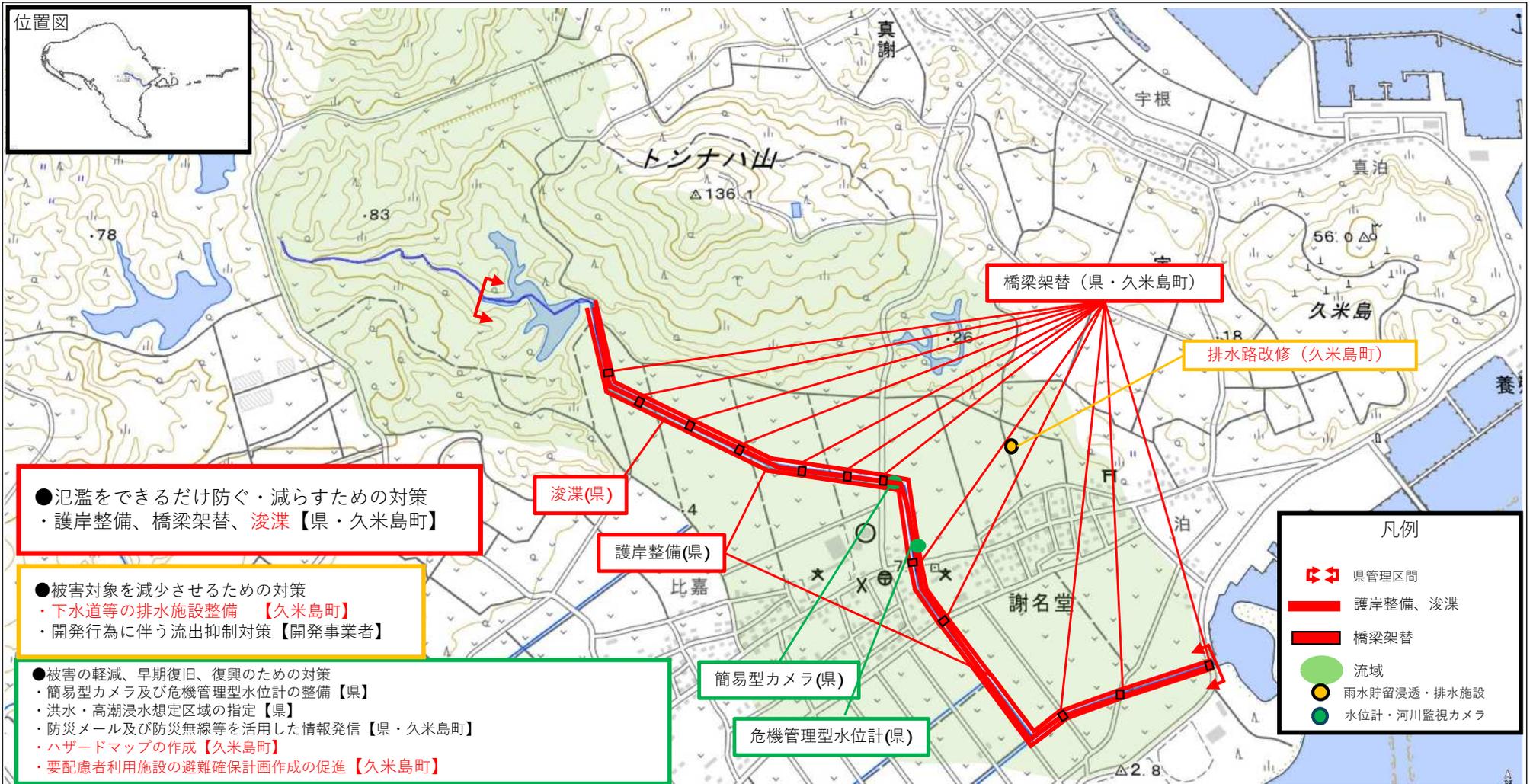
浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

破線：事業中、取組中
 実線：維持管理、フォローアップ等

謝名堂川水系流域治水プロジェクト

○二級河川謝名堂川は、流域面積3.0km²、流路延長2.85kmの2級河川であり、周辺には役場や学校等の公共施設が位置している。現況河川の流下能力が小さいことから、台風や豪雨時に、宅地や道路の浸水被害が度々発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

謝名堂川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、簡易型カメラ及び危機管理型水位計の整備するほか、防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、橋梁架替、浚渫	県			
被害対象を減少させるための対策	・下水道等の排水施設整備	久米島町			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・簡易型カメラ及び危機管理型水位計の整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	久米島町			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、久米島町			

謝名堂川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

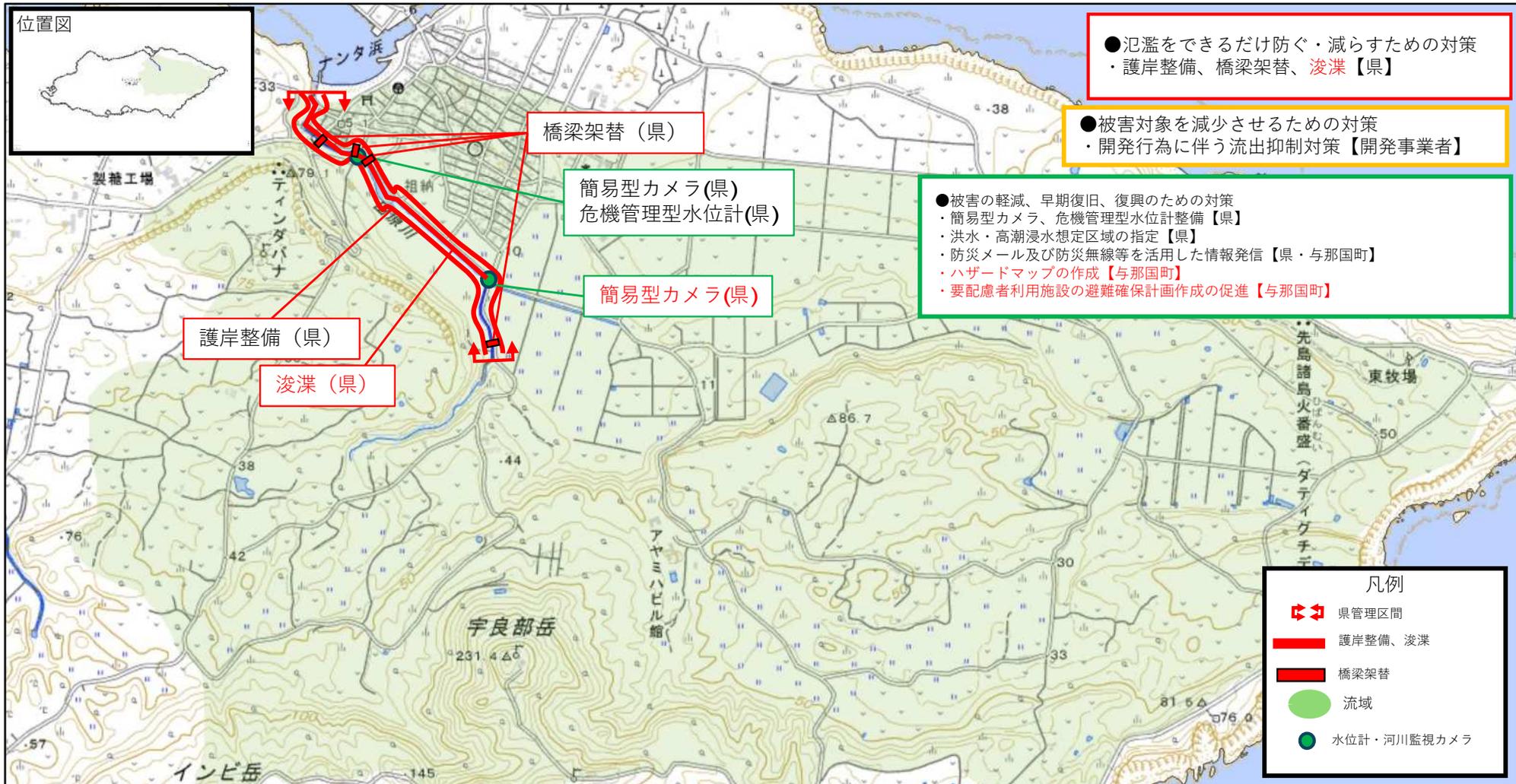
【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

田原川水系流域治水プロジェクト

○二級河川田原川では、平成20年9月台風による家屋浸水、平成27年4月豪雨による道路冠水、近年においては令和元年5月豪雨による家屋浸水などの被害が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
・護岸整備、橋梁架替、**浚渫【県】**

● 被害対象を減少させるための対策
・開発行為に伴う流出抑制対策【開発事業者】

● 被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
・簡易型カメラ、危機管理型水位計整備【県】
・洪水・高潮浸水想定区域の指定【県】
・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信【県・与那国町】
・ハザードマップの作成【与那国町】
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【与那国町】

護岸整備 (県)

浚渫 (県)

橋梁架替 (県)

簡易型カメラ(県)
危機管理型水位計(県)

簡易型カメラ(県)

凡例

- 県管理区間
- 護岸整備、浚渫
- 橋梁架替
- 流域
- 水位計・河川監視カメラ

田原川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。
【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、簡易型カメラ、危機管理型水位計整備するほか、防災メール及び防災無線等を活用した情報発信による防災体制の強化を図る。
【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、橋梁架替、 浚渫	県			
被害対象を減少させるための対策	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・簡易型カメラ、危機管理型水位計の整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進	与那国町			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、与那国町			

田原川水系
流域治水プロジェクト

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ